

## 第 11 回 放射線計測専門家会合 報告

このたび、令和 7 年 2 月 14 日（金）に東京都新橋のビジネスフォーラムにおいて、第 11 回放射線計測専門家会合（以下「専門家会合」という）を開催致しました。昨年度に続き、天気にも恵まれて無事終了したことに安堵しております。

放射線計測協会は、放射線計測に係る知識普及の一環として、コロナ禍での中止を除き、平成 21 年から毎年、専門家会合を開催しております。専門家会合は、放射線防護関連の専門家や研究者が集まり、最新の放射線計測技術やその研究成果、放射線被ばく管理技術や防護に用いる線量などに関する情報共有と議論を行う場として今回で 11 回目の開催となりました。その年毎に知識の向上に役立つテーマを取り上げて、その中で放射線計測に関する最新のトピックスや課題について、様々な専門家や機関からの視点で情報交換を行っています。

第 11 回の専門家会合では、次の二つの講演をしていただきました。一件目は、学校法人近畿大学原子力研究所教授、山田 崇裕様の「放射線防護分野における国際標準化国際規格（ISO/IEC）開発の



代理講演者 小泉 光生様

現状と国内対応」。二件目は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核不拡散・核セキュリティ総合支援センター技術開発推進室の高橋 時音様（当日は小泉光生様が代理講演）の「核セキュリティのための放射線検知技術開発」です。専門的な内容を大変わかりやすく講演いただきました。講演の内容を再編集したものを以下に掲載致します。

改めまして、本会合の成功にご尽力頂いた皆様に、心より感謝と敬意を表し、お礼の言葉を申し上げます。今後も新しい放射線計測関連技術に関する情報交換と技術交流を深めるために、本専門家会合を継続したいと考えております。



講演者 山田 崇裕様



### 講演資料①

[「放射線防護分野における国際標準化国際規格（ISO/IEC）開発の現状と国内対応  
学校法人近畿愛媛原子力研究所教授 山田 崇裕 様](#)

### 講演資料②

[「核セキュリティのための放射線検知技術開発」  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核不拡散・核セキュリティ総合支援センター  
技術開発推進室 高橋 時音 様](#)